

## 減災コミュニケーション入門

授業科目名	減災コミュニケーション入門	単位数 2 単位
英語標記	Introduction to Communication for Disaster Mitigation	
授業コード	360106	
受講人数	10 人程度	
担当教員	渥美 公秀、諏訪 晃一	
対象	全研究科大学院生、全学部学生	
開講時間等	第 1 学期＝ほぼ隔週木曜日 3-5 限(予備日を含め 4/15, 5/20, 6/3, 6/10, 6/17, 7/1, 7/8, 7/15 を予定)	
開講場所	吹田キャンパス：人間科学部 東館 512 講義室	
キーワード		
授業の目的	減災コミュニケーションは、災害とコミュニケーションに関する理論的知見と実践的知見に基づいて行われることは当然である。この授業では、災害の事例を学ぶとともに、コミュニケーションに関する理論的展開を採り上げ、基本的文献を講読しながら、減災コミュニケーションの基本的な考え方を習得することを目的とする。	
講義内容	本年度は、災害事例として Buffalo Creek Flood (1972)を採り上げ、コミュニケーションとしては集合的想起の問題に注目する。それぞれに関する文献を講読するかたちで授業を進める。  第 1 回 減災コミュニケーションとは？ (1) 実践事例(講義) 第 2 回 減災コミュニケーションとは？ (2) 理論(講義) 第 3 回 災害事例：教科書 1 の講読 (1) 第 4 回 災害事例：教科書 1 の講読 (2) 第 5 回 災害事例：教科書 1 の講読 (3) 第 6 回 災害事例：教科書 1 の講読 (4) 第 7 回 災害事例：教科書 1 の講読 (5) 第 8 回 集合的想起とは？ (1) 理論(講義) 第 9 回 集合的想起とは？ (2) 事例(講義) 第 10 回 集合的想起：教科書 2 の講読 (1) 第 11 回 集合的想起：教科書 2 の講読 (2) 第 12 回 集合的想起：教科書 2 の講読 (3) 第 13 回 集合的想起：教科書 2 の講読 (4) 第 14 回 集合的想起：教科書 2 の講読 (5) 第 15 回 まとめ	
教科書	(1) Erikson, K.T. (1976). Everything in its path. New York: Touchstone. (2) Wertsch, J.V. (2002). Voices of collective remembering. New York: Cambridge University Press.	
参考書	授業中に紹介します。	
成績評価	授業の出席と発表内容によって評価する。	
その他	英文の多読を求めます。	